

令和4年 6月定例会

6月7日～6月23日
会期：17日間

■今回の議案は…


- 市長提出議案 10件
- 議会提出議案 1件

この号では次の項目を
Pick up!

Pick up 1
〈議第33号〉
【令和4年度三島市一般会計補正予算（第2号）】（全会一致）
■補正予算額
8億6,641万7千円

Pick up 2
〈発議第1号〉
補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書

すべての議案と結果などの詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。



三島市議会 検索

Pick up 1
一般会計予算を
増額補正

寄りそったサポートを目指します

交通対策事業 2711万円

コロナ禍の影響による公共交通利用者の回復の遅れや、燃料費高騰による経営への圧迫に苦しむ事業者を対象に支援を行う経費を増額します。

主な質疑

質疑 報償金の内訳とその根拠は。
答弁 路線バス・タクシー・鉄道事業者にはそれぞれ基本額として20万円を交付する。また、路線バスについては、各事業者が市内を1日あたりに運行する車両数に8万円を乗じて得た額を上乗せし、

タクシーについては、各事業者が市内の営業所に配置する事業用車両1台につき5万円を加算する。鉄道については、事業者が市内を1日あたりに運行する車両1編成につき50万円を加算する。積算根拠は、令和2年から令和4年にかけての原油価格高騰による影響についての事業所からの聞き取りや、公共交通事業者に新型コロナウイルス感染症に関する支援を実施している近隣自治体への事業内容のヒアリング結果および国や県における同様の補助金の動向を鑑み、単価の設定をした。

質疑 伊豆箱根鉄道への支援は、駿豆線沿線地域活性化協議会等において沿線市町とも連携を図りながら実施できないか。
答弁 協議会として沿線市町が足並みを揃えて支援の基準や負担割合等を定めることが好ましいと考えるが、会議の開催や補助金の内容についての市町の調整に時間を要することが予測されるため、スピード感を重視し、既に令和3年度に補助制度を実施している三島市が先行して行うこととした。

主な質疑

質疑 この事業を実施する理由は。
答弁 コロナ禍や国際情勢の変化による影響により、原油価格をはじめ、飼料、肥料原料の価格が高騰しており、農家への経営圧迫に対する支援が求められている。現在、国および県において飼料や燃料油についての支援策を実施しているが、肥料についての支援策は実施されていない。

さらに、6月から全国JAグループにおいて肥料価格の改定により、大規模な値上げが予定されている。

このような状況を踏まえ、現状国および県の支援策が行われていない、肥料等の購入費用について、農畜産業者の負担軽減や経営支援の一助となることを目的とし、実施するもの。



質疑 事業の周知方法および申請の方法は。
答弁 周知方法は、対象となる市内在住のJAふじ伊豆三島函南地区本部の正会員に、正確かつ迅速に周知できるように、JAの広報紙による周知、部農会への回覧、各支店や営農関連施設へのチラシの配架、三島市ホームページへの掲載などを予定しており、JAなどとの関係機関と連携し、周知を徹底していく。

また、申請方法については、購

入店舗の指定はないが、5月31日時点の価格単価が確認できることを条件としており、購入した肥料の領収書や伝票などの証明書類を令和5年1月末までにJAに提出することとなる。

健康DX推進事業 1490万円

デジタル技術を取り入れ、自らの健康を自分で管理する仕組み作りのためのスマートフォンアプリ等を導入する経費を増額します。

主な質疑

質疑 みしまタニタ健康クラブの事業効果の検証と課題の反映は。
答弁 みしまタニタ健康クラブの導入により、活動量計を用いて市民が自ら意識的に計測を行うことで運動量を把握し、それにより自分で気づき、行動変容を促すという新たな生活サイクルを提案することができた。

また、活動量を数値として把握し、活動量をポイントに換算できるなどポイント制度を組み込むことができ、インセンティブの付与

による健康づくりの継続を促すことも可能となった。

このような新たな仕組みが確立できた一方、みしまタニタ健康クラブの加入や継続には年会費が必要であることや、活動量計という機器の携行が必要となることなどが、会員増加の伸び悩みの要因となっていた。

これらの課題を踏まえ、別の機器を携行する必要もなく、自分のスマートフォンで利用ができる無料アプリを提供することで、市民が更に健康づくりに参加しやすくなることを考えている。



質疑 期待される事業効果とデータの活用について
答弁 スマートフォンを使用した健康データ管理アプリの活用により、誰でも無料で加入が可能となる。また、別の機器を必要としないため参加しやすく、若い世代の参加も期待できる。

これまで紙で周知していたイベントの案内や、健康管理に関するアドバイス等も、スマートフォン

肥料等価格高騰対策事業費補助金 4500万円

輸送費や肥料、飼料の価格高騰により大きな影響を受けている農畜産業者に対し、経営の安定と販売価格の抑制を支援するための経費を計上します。

主な質疑

質疑 この事業を実施する理由は。
答弁 コロナ禍や国際情勢の変化による影響により、原油価格をはじめ、飼料、肥料原料の価格が高騰しており、農家への経営圧迫に対する支援が求められている。現在、国および県において飼料や燃料油についての支援策を実施しているが、肥料についての支援策は実施されていない。

を使用したプッシュ型通知により、利用者に迅速かつ効果的に情報を提供できるようにするなど、運用面でのメリットも大きいと考えている。

さらには、勤め先で実施した健康診断のデータを取り込むことや、データによる自身の健康管理全般の情報の連携も容易になると想定している。

※プッシュ型通知とは…アプリが自動的にお知らせを通知する機能

学校給食費徴収管理事業 1651万5千円

食材価格等が高騰する中、保護者に負担をかけずに学校給食を安定的に提供するため、給食の食材購入費の上昇分の経費を計上するものです。

主な質疑

質疑 上期の食材価格の高騰の状況と下期の見通しを伺う。
答弁 国際情勢や円安などの影響による物価高騰により、学校給食で使用している食材価格の値上げが危惧されている。

給食の食材価格は、米は年一回、